

**大牟田における
若年認知症本人交流会と
地域認知症サポートチームの取り組み～**

～ Dementia Friendly Community をつくろう！～

大牟田市認知症ライフサポート研究会

福岡県大牟田市の概況

～やさしさとエネルギーあふれるまち・おおむた～



かつては炭鉱のまち
(平成9年三池炭鉱閉山)
今、大牟田は
人にやさしいまちへ

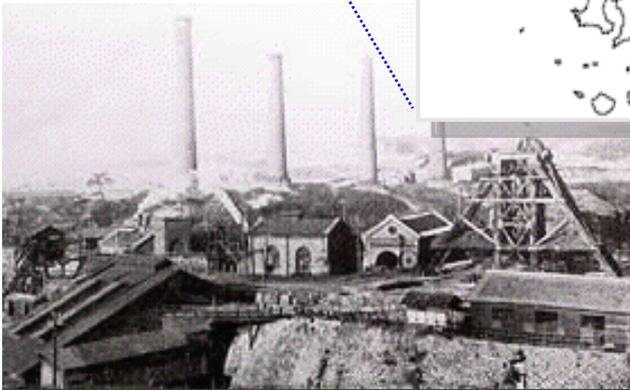
●大牟田市の人口

約210,000人 ⇒ **約117,224人**
(1960年) (2017年)

●高齢者数 約41,134人

高齢化率35.1% (2017年4月)

※10万人以上の都市において
全国第2位(平成27年国勢調査)



大正時代の七浦坑



明治日本の産業革命遺産

認知症の人の理解を深め、
地域全体で支える
しくみをつくり、
認知症になっても、
誰もが住み慣れた家や地域で、
安心して豊かに
暮らし続けることができる
「まちづくり」をしています。

大牟田市認知症ライフサポート研究会 (2001年～)

Omuta city Dementia Life Support reserch society

大牟田市介護サービス事業者協議会の専門部会として発足。

- ◆ 専門職が手を携えて「認知症の人や家族がより良く暮らしていけるようにと立ち上がった
- ◆ 事務局 ⇒ 大牟田市長寿社会推進課

地元の専門職と行政職員のパートナーシップ＝大牟田方式

Partnership between the administration and local professionals



2002年より地域認知症ケアコミュニティ推進事業

Regional Dementia Care community promotion project

地域全体で認知症の理解が深まり、認知症になっても
尊厳と希望を持って安心して暮らせるまちづくり

To build Dementia Friendly Community

10年以上継続している多職種協働・多世代交流・地域協働の取組み

認知症コーディネーター養成研修



人づくり

認知症の人の尊厳を支え、本人本位の認知症支援の牽引役、まちづくりの推進者の育成

2年間の研修を終えたコーディネーター修了生は、所属事業所内で認知症ケアを実践する他、地域に認知症の理解を浸透させるために様々な取り組みを実践



もの忘れ予防・相談検診

～介護予防教室「ほのぼの会」

早期支援

認知症の早期発見・早期対応を目的として、もの忘れ予防・相談検診を実施

フォローが必要な人は、地域交流施設で開催する認知症予防教室へ

認知症サポートチーム（全国モデル）による継続支援



大牟田市地域認知症ケアコミュニティ推進事業

小中学校の絵本教室

認知症サポーター養成講座

理解啓発

子どもの時から、認知症の人の気持ちや支援について学ぶため、小中学校での認知症の絵本の読み聞かせとグループワーク

地域や職域団体等を対象に認知症の正しい知識やつきあい方を学ぶサポーター養成講座（約15,000人）



高齢者等SOSネットワーク

～模擬訓練～

地域づくり

SOSネットワークの実効性を高めるための模擬訓練（13年目）

認知症になっても安心して暮らせるまちをつくるために、市民へ認知症の理解と見守りの重要性を啓発し、日常的な声かけ・見守りの意識を高めるとともに、行方不明発生時に対応するSOSネットワークを構築



大牟田市における認知症コーディネーター育成と配置

平成15年度

背景

- 1) 認知症ケアの現場の情報、知識、意識や実践力の乏しさ、多職種間、事業者間、行政や地域との連携の不足
- 2) 単発の研修では知識や情報の蓄積はできても、意識や理念の醸成、実践力は高まらなかった
⇒平成14年度年間6回コースの認知症ケア実践塾を実施
- 3) デンマークの認知症コーディネーターにヒントを得、養成研修開始

平成18年度

◎地域密着型サービス

⇒独自基準によりグループホーム及び小規模多機能施設に受講義務化)

◎急性期病院に認知症ケアの理念と視点を！

⇒急性期病院への受講の推奨

◎地域包括支援センターには完全配置

現在

修了生115名 (うち27名 認知症ライフサポート研究会運営委員)

市が配置している認知症コーディネーター : 5名 (うち2名修了生)

地域認知症ケアコミュニティ推進事業ライフサポートモデル《ビジョン》

認知症になっても尊厳と希望を持って暮らし続けられるしくみと支援

地域認知症サポートチームの役割

認知症コーディネーター(6名)の役割

地域を基盤に実践

- ・認知症何でも相談窓口
 - ・定例カンファレンスへの参加
 - ・もの忘れ検診、予防教室へのサポート
 - ・本人交流会/家族交流会/DLBサポートネットのコーディネート及び若年認知症支援
 - ・認知症コーディネーター養成研修の企画・運営
 - ・認知症サポーター養成講座、啓発活動等
 - ・認知症SOSネットワーク事例のカンファレンス
- * 初期集中支援チームの役割

サポートチーム医師(7名)の役割

- ・もの忘れ検診への従事
 - ・定例カンファレンスへの参加
 - ・何でも相談窓口事例への助言
 - ・支援困難事例への助言
 - ・認知症コーディネーター研修や家族の集い等の講師
- * 初期集中支援チームの役割

事業中心で実践

認知症コーディネーター養成修了生の役割

- ④ ライフサポートワークとまちづくりの牽引
- ③ 課題分析と適切な医療とケアの支援
- ② アドボカシーの徹底理解と日々のアドボケートの実践
- ① パーソンセンタードケアの理解、理念を明確にもつ

修了生実態調査結果(2013年)

- ・パーソンセンタードケアの推進 75%
- ・権利擁護の推進 77%
- ・困難事例への助言 80%
- ・医療と介護の連携 72%
- ・地域の理解、連携 60%

大牟田市地域認知症サポートチーム

メンバー構成

- ・専門医（神経内科医・精神科医・老年内科医）
- ・認知症サポート医、認知症医療センター
- ・認知症コーディネーター（看護職等）
- ・認知症連携担当者（行政） * 地域包括支援センター

役割

- ・もの忘れ相談検診・予防教室、何でも相談窓口
- ・支援困難事例への助言（* 一部初期集中支援チームの役割を含む）

FTD, DLB, 若年認知症, 高度BPSD, 受診拒否, 自動車運転等

- ・地域認知症サポートカンファレンス（月一回）
- ・若年認知症本人交流会、家族交流会
- ・認知症の教育、啓発活動、DLBサポートネット

大牟田市地域認知症サポートチームの役割

1. 早期からの良い支援(複雑化のプロセスを断ち切る)ができるように医療と介護の両面から支援していこう！「入り口」の支援
2. 「変化点」が生じたときに、医療と介護の両面からの適切なアセスメントを行い良い流れからはずれないようにしよう！

変化点・分岐点の支援

1) 「入り口」を支援しよう

もの忘れ検診
予防教室
何でも相談窓口
初期集中支援チーム

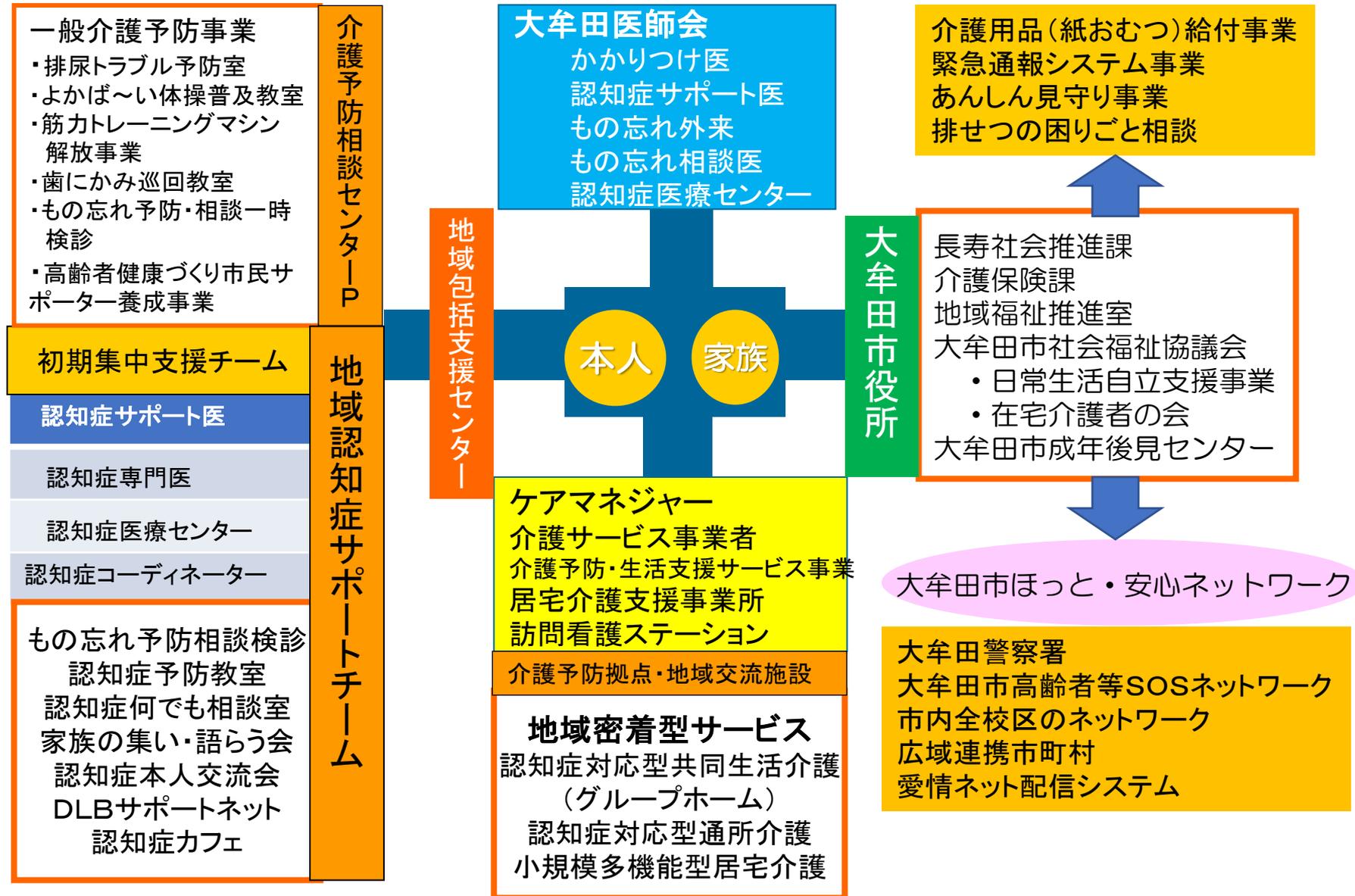
2) 診断後の居場所・つながりをつくろう！

家族の集い・語らう会
本人交流会
認知症カフェ
DLBカフェ

3) 良い支援の流れをつくろう！

定例カンファレンス
認知症コーディネーター研修
多職種連携セミナー
認知症サポーター
地域啓発

- ★認知症になる前、予防の段階からの支援とサービスの資源を図にしたものです
- ★行政や医療・介護分野、社会福祉分野のさまざまな支援があります



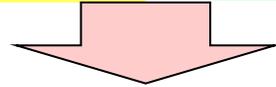
家族支援 本人支援

家族の集い・語らう会

- ・毎月1回（定例会）
- ・学習会と家族同士の情報交換、交流、健康チェック、ケアビクスなど
- ・本人と一緒に参加可能
- ・男性介護者への支援も
- ・認知症コーディネーターと社会福祉協議会とコラボ

若年認知症本人交流会

- 『ぼやき・つぶやき・元気になる会』
- ・毎月1回（定例会）
- ・若年性認知症の当事者が発起人
家族も一緒に参加可
- ・本人同士の情報交換、交流、積極的な社会参加活動
- ・地域密着型サービス事業所がベースキャンプ



同じように辛い思いをしている本人・家族同士が語り合い、励まし合うことで、リラックスしたり、楽しみのある場をつくったり、そうは言っても目の前の現実に向き合っていくかをともに考え、しっかり相談、情報収集ができる

認知症コーディネーターが個別フォロー

本人・家族、支援者の出会いの場 認知症カフェin大牟田

本人や家族が気兼ねなく参加できる場

本人・家族が気軽に専門職や地域住民と出会い、相談できる場

認知症を学び、共感し、地域で支え合う場

当事者
家族

地域住
民・学生・
ボランティ
ア

医療
介護の
専門職

まちの あちこちに 認知症カフェができると
⇒早期支援、介護負担の軽減、理解啓発



第8回 DLBカフェ

(レビー小体型認知症の本人と家族のための支援ネット)

DLBサポートネットおおむたは、レビー小体型認知症の正しい知識の普及や理解、ご本人・ご家族など同じ病気をかかえる仲間、専門職等との交流を目的としています。

ご本人、家族や医療・ケア関係者と、レビー小体型認知症についての病気やケアについて学んだり、情報共有したり、支えていけるように取り組んでいきたいと思っています。

ご本人やご家族、支援者など、関心のある方のご参加お待ちしております。

日時: 5月21日(日) 13:30~15:30

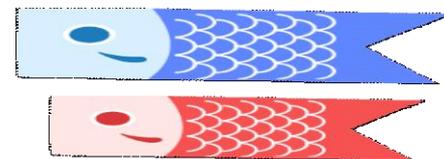
場所: 地域交流センター コムーネ

大牟田市田隈820番地1 ひがしはら整形外科隣接

**内容: みんなで学ぶ「ここが知りたいDLB」、介護相談
レクリエーションなど**

参加費: 300円

協力: 福岡県認知症医療センター 国立病院機構大牟田病院



*** デイサービスなどの
事業所の皆さんも
気軽に参加してくだ
さい!**

お問い合わせ先

**大牟田市介護サービス事業者協議会
認知症ライフサポート研究会**

5. 診断後からの、それぞれの時期に応じた適切な支援

診断からそれぞれの経過に沿った支援マップ



本人



家族

早期診断・早期支援

- もの忘れ・認知症外来
市内 〆所の医療機関
ページへ
- 認知症医療センター
国立病院機構大牟田病院
予約制 ページへ
- もの忘れ相談・予防検診
7月・10月 年2回
ページへ
- 地域包括支援センターに問合せ
- 認知症何でも相談
毎週水曜日13:30~16:30
場所: 保健所
- 地域包括支援センターに問合せ
- 地域認知症サポートチーム
- 初期集中支援チーム
診断や初期支援をサポートする認知症専門チーム
ページへ

診断後のサポート

- 本人支援**
- 認知症カフェ
市内12か所
ページへ
- 本人交流会
「ぼやき・つぶやき・
元気になる会」
毎月1回の集い
ページへ
- 家族支援**
- 家族の集い・語らう会
毎月1回第3木曜
ページへ
- 在宅介護者の会
毎月
- DLBサポートネット
*レビー小体病の集い
2か月に1回 ページへ
- 若年認知症相談

介護サービス・在宅医療等の利用

- 介護保険申請(市の介護保険窓口へ)
- 介護認定 ⇒ 要支援
介護予防相談センター ページへ
- 介護認定 ⇒ 要介護 ケアマネジャーを決定 ⇒ ケアプランの策定
 - ◆ 訪問介護・定期巡回・随時24時間訪問介護サービス
 - ◆ 通所介護
 - ◆ 認知症対応型通所介護
 - ◆ 療養型通所介護
 - ◆ 訪問診療・訪問歯科診療
 - ◆ 訪問看護・訪問看護ステーション・訪問リハビリ
 - ◆ 小規模多機能型居宅介護(24か所)
 - ◆ 認知症対応型共同生活介護
 - ◆ 短期入所者生活介護
 - ◆ 介護老人保健施設(6か所)
 - ◆ 介護老人福祉施設・地域密着型介護老人福祉施設
 - ◆ 特定入所者生活介護・有料老人ホーム等
 - ◆ 住宅改修・日常生活自立
- 地域支援事業
- ◇ 排泄ケア相談

社会福祉協議会
日常生活自立支援事業 ページへ

大牟田市成年後見センター ページへ
市民後見人

地域の
助け合い
支援

各校区まちづくり協議会・民生委員 大牟田市ほっと・安心ネットワーク・愛情ネット・認知症SOSネットワーク登録システム
社会福祉協議会 大牟田市ライフサポートセンター・大牟田市居住支援協議会
よろず相談所 認知症キャラバンメイト・認知症サポーター

会のねらい

- ▶ 同じような思いを持っている本人同士の出会いの場
- ▶ 本人同士が日頃の思いや願いを語らう場
- ▶ 一人で悩んでいる人が仲間とつながり、一歩踏み出す場
- ▶ 「私たち」をサポートしてくれている家族同士が出会い、語らう場

認知症本人交流会「ぼやき・つぶやき・元気になる会」

一人のご本人の「同じ病気の仲間と語り合いたい」という声から始まった

- ・毎月1回(定例会)
- ・当事者5～10名程度の集まり
家族も一緒に参加可
- ・本人同士の情報交換、交流、社会参加活動
- ・他県の仲間とのつながり
- ・厚生労働省当事者研究チームに参加

地域づくりの活動に地域の一員として参加
認知症になってからも、一人の人として、尊厳と
希望を持っていきる社会を目指して！

今後の課題

- ▶ 認知症コーディネーター修了生全員を地域をフィールドに活動する認知症コーディネーターにできないか？
- ▶ 認知症コーディネーターが初期支援において、リンクワーカー“（スコットランド）のような役割を果たせないか？
- ▶ 若年認知症本人交流会で「働く」応援ができないか？
- ▶ すべての地域活動を当事者参画型にできないか？
- ▶ 丹野智文さんのオレンジドアのような活動ができないか？